

氏名（ふりがな）：宮下量久（みやしたともひさ）

英文表記：Miyashita Tomohisa

現職の所属・役職：拓殖大学政経学部准教授

英文表記：Associate Professor, Faculty of Political Science and Economics,
Takushoku University

専門分野：地方財政、公共選択論、公共経済論主たる研究テーマ：過疎地域の財政問題、自治体間連携・官民連携に基づく税財政制度改革

略歴（学歴・職歴）（10行以内）：

2012年9月 法政大学大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程修了、博士（経済学）

2008年8月~2009年3月 株式会社 PHP 研究所特別研究員

2009年4月~2012年3月 株式会社 PHP 研究所政治経済研究センター研究員

2012年4月~2013年3月 株式会社 PHP 研究所政治経済研究センター主任研究員

2013年4月~2014年3月 株式会社 PHP 研究所月刊誌『Voice』編集部主事

2014年4月~2015年9月 公立大学法人北九州市立大学都市政策研究所准教授

2015年10月~2017年3月 公立大学法人北九州市立大学地域戦略研究所准教授

2017年4月~ 現職

主たる著書・論文等（5点以内）：

『「平成の大合併」の政治経済学』（中澤克佳氏との共著）、勁草書房、2016年6月

「政権選択と公共選択論」『テキストブック公共選択』（川野辺裕幸、中村まづる編著）、第9章、pp.182-200、勁草書房、2013年10月

「市町村における財政調整基金の積立要因に関する実証分析」（鷺見英司氏との共著）、『計画行政』、2020年近刊

『「平成の大合併」を踏まえた「令和」時代の地方財政』（単著）『日経研月報』、8月号、pp.16-25、日本経済研究所、2019年8月

「過疎対策事業債の発行要因に関する実証分析」（単著）『日本地方財政学会研究叢書第26号：大都市圏域における自治体経営のイノベーション』 pp.61-86、五紘舎、2019年3月